

ワークショップ 6

「希少腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病を除く)における現状と課題」

司会 松本 主之 (岩手医科大学内科学講座消化器内科分野)

仲瀬 裕志 (札幌医科大学医学部消化器内科学講座)

日常診療では、診断や治療に難渋する腸疾患に遭遇することがある。その際、希少疾患の特徴を熟知し鑑別診断として想起することが重要である。一方、近年稀と考えられてきた腸疾患の病態が明らかとなりつつある。そこで、本ワークショップでは希少な腸疾患の臨床像、病態、治療法について現状と課題を議論したい。Monogenic IBD、消化管ポリポーシス、遺伝性消化管癌などをテーマとしたセッションとし、新たな疾患概念も提示頂ければ幸いである。